

献金のお願い

障がいを持つ人々を支え、共に歩みたいと願う、日本キリスト教奉仕団の事業に、いつもご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

私たちは、今年もアジアの障がいを持つ人々の福祉の向上を目指したアジア研修交流事業に取り組んでいます。これらの公益活動資金は、皆さまからの寄附金と献金で賄われています。

また、施設を利用される方たちの安全を確保し、支援の質を向上させるための施設・設備整備等の事業の資金についても自己資金を用意する必要があります。

今年度は、以下のような目標額を掲げております。
皆さまのご理解を賜り、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

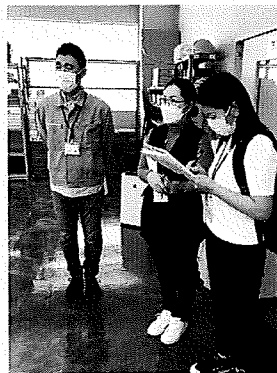
2022年度献金目標額 **450万円**

アジア研修交流事業 **300万円**

施設・設備整備事業 **150万円**

アジア研修交流事業

当奉仕団では、1980年からアジア研修交流事業の一環として「アジア研修交流プログラム」を実施してきました。アジアの国・地域から、障がいの福祉に従事する方々を研修生として日本にお招きし、また日本からも職員を派遣して互いに学び合うというものです。これまでに参加された方は、インド、フィリピン、タイ、中国など15の国や地域から延べ84名となりました。



今年度モンゴルから来日された
研修生ナランジャルガルさん
(右端)

今年度は、11月に昨年度と同じモンゴル国からモンゴルダウン症協会の責任者のナランジャルガルさんを研修生として招待することができました。その研修への思いを次のように述べていました。「知的障害のある子供や若者への教育、健康、雇用、人権などの政策や社会福祉に日本がどのように取り組んできたかを学び、自国の社会・文化の特徴に合わせて適用し、非政府組織として活動や経験を深めながら福祉の向上を計っていきたいです。」そして、来日されてからの研修では、利用者がトレーニングを受けている姿や障がいの程度や特性に合った作業をしている姿を見学し、熱心にメモを取り質問をしていました。

この事業は、皆さまからの寄附金や献金によって運営されています。このことを深く感謝するとともに、今後も引き続き皆さまのご理解を賜り、ご支援とご協力を謹んでお願い申し上げます。

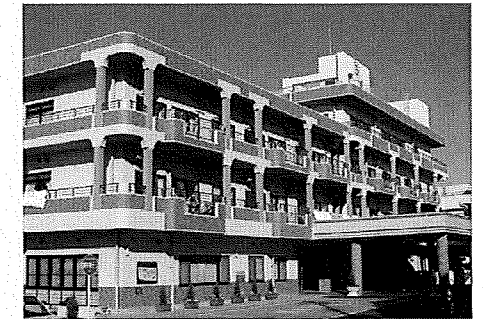
聖句

「この最も小さな者の一人にしたのは、すなわち、私にしたのである。」

マタイによる福音書 25章 40節 聖書協会共同訳

施設・設備整備事業

2015年度まではアガペ壱番館の施設整備に毎年皆さまの貴重な献金を使わせて頂きました。座間のアガペセンターに加え、板橋福祉工場が全面改築となり新しい建物が与えられましたが、これ等の施設設備は定期的に更新を必要としており、そのための自己資金の積立をしていく事は、奉仕団の健全な財務を保証し、利用者の皆さまの安全な環境を担保するものとなります。今後とも施設整備維持の為、皆さまの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。



2022年11月



社会福祉法人日本キリスト教奉仕団
理事長 渡辺 教

● 法人本部

・本部事務局・アジア研修交流事業
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-22
電話 03-3202-0486 FAX 03-3202-0487
e-mail houjinhonbu@jcws.or.jp
URL <http://www.jcws.or.jp/houjin/houjintop.html>

理事 井殿 準 小松田 貞利
佐々木 章吾 園崎 秀治 田口 努
田中 誠一 毛利 龍夫
監事 後藤 省二 西原 良信

● アガペセンター

・アガペ作業所・アガペ壱番館
・アガペサポートセンター・スマイル
・座間市障がい児・者基幹相談支援センター
・座間市立もくせい園・座間市サニーキッズ
〒252-0002 神奈川県座間市小松原2-10-14
電話 046-254-7111 FAX 046-255-2915

● アガペ東京センター

・東京都板橋福祉工場
・国立国会図書館複写受託センター
・新宿区立新宿福祉作業所
・板橋区障がい者就労支援センター(ハートワーク)
〒175-0082 東京都板橋区高島平9-42-7
電話 03-3935-2601 FAX 03-3935-2688

◆ ご送金方法

同封のゆうちょ銀行払込取扱票をご利用ください。尚、寄附金は納税の際、税額控除等の対象となります。
(振替口座 00150-1-69385 口座名 社会福祉法人日本キリスト教奉仕団)